

# 2学期終業式、759日ぶりに3学年全員が体育館へ



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

1・2月号

## 自然に生きる

校長 荻須 文裕

いつか、このことを記しておきたいと思っていました。一本の樫かしの木の話です。校庭の林の中に、今も静かに生えています。

この木を見つけたのは、以前に葵中の勤務をしていた十年程前のことです。体育館の周りを歩いていた時に、偶然目に留まりました。何の目的があつて歩いていたのか思い出せません。初めてそこを通ったのではありませんし、普段から目にしていたところでした。しかしそのときは、木々に囲まれ、すつと立つ、細い幹をしたその木を見つけてしまったのです。

木を見つけるというのは、なんとも不思議な話です。幹が曲がりくねっているわけではありません。独特の色をしていることもありません。まっすぐに伸びた高さ三メートルくらいの木です。強いて言えば、四方に広げた枝は数本と少なく、葉の数も茂るというほどにはついていません。風が吹けば、ゆらりゆらりと揺れてしまいそうです。少し離れて見ていると、何の違和感もない林の中の本木ほんきの木なのです。

ただそのときは、何か考え事をしていたのかわかりませんが、ぼんやりとその葉から幹、そして根元へと目を移しました。独りでしたが、思わず唸うなりました。

ような声が出たことを覚えていますが。なにせその木は、どっしりと置かれた岩の細い割れ目から生えていたからです。

ところで先日、三年生の面接練習をしました。どの生徒も、志望理由や高校生活への期待をしっかりとした言葉で話していました。またそのうちの何人かは、高校の留学制度を使って、海外の文化を学びたいと夢を語ってくれました。とても頼もしい思いがします。少し前の話ですが、日本の大学生の留学者数が少ないことが話題となりました。現在では、二〇〇九年をワーストとして回復傾向にあるようです。コロナ禍の後には、きっと多くの若者が、新しい地へ飛び出すことでしょう。

自分がどの地に根を伸ばし、どのような栄養を吸収するのか。三年生が新たな道へと、歩みだそうとしています。人生の選択をする経験は、これからの大きな力となると信じます。また、時として逆境を経験するかもしれません。得られた環境で精いっぱい生きるというのも自分の力となるものです。夢を追い前に向かい、自分の道を歩み続けてほしいと願います。

岩に根ざした樫は、ど根性などという言葉が似合わない、静かな佇まいたてまいで生きています。自然に生きる力がそこにはあります。

## 二学期を振り返って

### 二学期を振り返って

一年二組

二学期に努力したことが、二つあります。一つ目は学習です。僕は、一学期のテストでわかった自分の課題や、しっかり理解できていなかったところを見直すようにしました。しかし、中間テストでは、納得のいく結果を出すことができませんでした。だから、期末テストでは、より集中して真剣に勉強に取り組みもうと自分の心に誓いました。そして迎えた期末テスト。僕は、長時間集中して勉強しました。その結果、僕の目標を大きく上回ることができました。失敗しても、その失敗を次に生かして努力することで、成長につながることを学びました。

二つ目は、級長として努力できたことです。級長になると、自分がクラスを引っ張っていかなければいけないという強い使命を感じるようになり、積極的にクラスの仲間に見意見を言ったり、声をかけたりする回数が増えてきました。それでも、もっとクラスのために自分にできることがあると思います。

三学期は、クラスの仲間を成長させるだけでなく、自分自身の成長のためにも、僕が率先して、呼びかけをしたり、仲間にも優しく接したりしクラスの模範になれるようにいろいろなこととに挑戦していきたいと思います。

### 三学期へ続く

二年四組

分散登校、オンライン授業で二学期が始まりました。しばらくして、全員が登校できるようになったときは、久しぶりにみんなに会えてうれしかったです。

二学期は、たくさん行事がありました。私がいちばん番心に残っているのは、体育大会です。

今年は、学年演技がなかったので、より一層学級での大切な思い出を作りたいと思いました。私たちのクラスでは、優勝を目指して、個人種目やリレーのバトンパスの練習に励みました。バトンパスの練習では、お互いにアドバイスをし合い、よい雰囲気の中、上達していくのを感じました。また、私たちのクラスでは、応援歌を作り、一生懸命頑張る仲間に向けてみんなで元気よく歌って応援しました。応援されると、より一層、頑張ることができました。クラスで一つの目標に向かって頑張ることで、クラスが更に団結し、体育大会を通して成長することができたと思います。

### 最後の二学期

三年二組

二学期の最初は、自宅でのオンライン授業から始まりました。家で授業を受けることは、新鮮に感じました。しかし、自分の時間をうまく調節して生活することや、昼食を自分で用意することなどは難しく、普段当たり前に感じていた、学校の日課が決められていることや給食があることのありがたみに気付くきっかけになりました。

その他に、特に印象に残っているのは、体育大会の葵の舞です。一年生のときに先輩方が踊る姿を見て、ずっと憧れていた葵の舞を、やっと自分たちができるんだという喜びを全身で表現して踊りました。当日は、踊っているときに、後ろからもみんなの大きな声が響いてきて、一体感を感じることができました。とても楽しくて、演技が終わるころになっても、まだまだ踊っていたいと思えるほど充実した思い出になりました。

学習面では、期末テストに向けて、早めに勉強を始めることができたのですが、計画面では、自分に足りないところがあることもわかりました。冬休み中も一日一日計画を立て、目標に向かって、こつこつと勉強に取り組みしていきたいです。



▲ あおいMAX 「いじめのストッパーになるために大切なことは何か」

# 生徒 学校教育診断結果

A : よくあてはまる

B : ややあてはまる

C : あまりあてはまらない

D : 全くあてはまらない (数字は%)

\* 前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	生徒への質問項目	前年比	■ : A + B	□ : C + D
1	学校へ行くことが楽しい。		84.0	16.0
2	あいさつがしっかりできている。		90.1	9.9
3	目標をもって行事や学校生活に取り組んでいる。		84.5	15.5
4	靴やスリッパの整頓ができている。		94.5	5.5
5	友達や周りの人を思いやることができる。		95.0	5.0
6	生徒会活動(行事、プロジェクト、委員会など)を積極的に取り組んでいる。	+10.5	80.7	19.3
7	授業は分かりやすく、楽しい。		82.4	17.6
8	タブレットを授業等で有効に使っている。	+8.0	90.6	9.4
9	授業の中で、「ちゃんと聴きます」ができている。		91.8	8.2
10	授業の中で、「ちゃんと伝えます」ができている。		64.3	35.7
11	授業の前に、「ちゃんと始めます」ができている。	+3.3	90.0	10.0
12	学級の係活動やそうじを真剣にやっている。		93.5	6.5
13	ボランティア活動や被災地支援活動に進んで参加している。	-25.5	54.1	45.9
14	道徳の授業は、生き方を考えるよい機会になっている。	+4.7	83.6	16.4
15	図書館の利用や読書をするを大切にしている。	NEW	59.0	41.0
16	部活動に、進んで参加している。 ※3年は自分の活動を振り返る。		88.7	11.3
17	通知表は、自分の学習や生活の様子をよく表している。		91.7	8.3
18	クラスに問題があれば、皆で協力して解決できるよう取り組んでいる。		83.7	16.3
19	学校は、いじめや問題行動にいていねいに対応してくれる。		85.1	14.9
20	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる友だちがいる。		92.0	8.0
21	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる先生がいる。	+3.8	74.3	25.7
22	インターネットやスマートフォン等は正しく利用している。		96.4	3.6
23	スマートフォン等にフィルタリングをかけている。		69.7	30.3
24	毎日、朝食を食べている。		90.9	9.1
25	給食後、歯磨きをしている。	NEW	76.8	23.2

## 6. 生徒会活動 ↗

これまでどおりに活動できない状況下にありますが、生徒会を中心に、全校が一体感をもてるように工夫をしています。これからも、状況に応じて、安全で実りある活動を推進していきます。

## 14. 道徳の授業 ↗

身のまわりの問題を考えて議論する道徳の授業を目指しています。これからの社会は、多様な価値観を認め合う時代です。授業を通して、たくましく生きる力や人を思いやる心を育てます。

## 13. ボランティア活動・被災地支援活動 ↘

今年のアンケートでは、継続して実施している「ひまわりプロジェクト(資源回収)」や「伊賀川プロジェクト(河川美化)」を、「ボランティア活動」という文言に改めて問いました。これらのプロジェクトの位置付けが、生徒たちに十分に伝わらなかった可能性があることを反省しています。これからも、両プロジェクトだけでなく学区の行事等にボランティアとして参加することも含め、活動する意味を受け止め、自分の意思で参加をする生徒を求めていきたいと思えます。

# 保護者 学校教育診断結果

A：よくあてはまる B：ややあてはまる  
 C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない (数字は%)

\*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	項目	前年比	A + B	C + D
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	-4.1	87.5	12.5
2	お子さんには、信頼できる友達がいると思いますか。	-4.9	87.4	12.6
3	お子さんは、学習内容が身につけていると思いますか。		66.6	33.4
4	お子さんは、部活動に進んで参加していると思いますか。	-3.7	83.0	17.0
5	お子さんには、信頼できる先生がいると思いますか。		80.0	20.0
6	お子さんは、学校のことや友達のことを話しますか。		79.4	20.6
7	お子さんは、家庭や地域であいさつができていますか。		83.3	16.7
8	教師は、楽しい授業をしていると思いますか。		80.2	19.8
9	教師は、お子さんのよいところを認めていると思いますか。		90.9	9.1
10	学校は、いじめや問題行動にたいねいに対応していると思いますか。	+3.0	83.5	16.5
11	教師にお子さんのことを気軽に相談できますか。		79.3	20.7
12	葵中新聞や学年通信などを読んでいますか。		80.9	19.1
13	学校は、道徳の授業や行事などで、思いやりや命の大切さを育てようとしていると思いますか。		85.5	14.5
14	学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしていると思いますか。		90.2	9.8
15	学校は、授業参観や行事など開かれた学校づくりに努めていると思いますか。(Web 配信を含む)		87.9	12.1
16	学校は、体育の授業や部活動・行事を通して、お子さんの体力を健やかに育もうとしていると思いますか。		89.0	↑1.0
17	学校は、学校行事を通して、自分の自信を高め、仲間と協力する心を育もうとしていると思いますか。	+5.6	88.8	↑1.2
18	学校は、読書活動を大切にし、豊かな心を育もうとしていると思いますか。	+5.1	79.6	20.4
19	学校行事は充実し、お子さんは生き生きと活動していると思いますか。		79.6	20.4
20	P T A 活動が活発で充実していると思いますか。		65.9	34.1
21	自然災害や緊急時の対応について、生徒手帳や緊急連絡をもとに家族で確認していますか。		54.6	45.4
22	お子さんがインターネット、スマートフォン等の利用をするにあたって、我が家のルールなどの約束事を作っていますか。		69.0	31.0
23	スマートフォン等を持たせている場合は、フィルタリングをかけていますか。	+3.5	75.2	24.8
24	お子さんは、毎日、朝食を食べていますか。		95.5	4.5
25	お子さんは、毎日、歯磨きをしていますか。		95.1	4.9

## 1.2.4. 学校生活

楽しい学校はかけがえのないものです。制約が多い日々ですが、より豊かな学校生活となるよう努めます。コロナ禍で人間関係が希薄になりがちです。協働的な活動に力を入れて友達や仲間の絆意識を高めていきます。

## 17. 自信を高める・仲間と協力する心を育む

コロナ禍で行事などは停滞しがちですが、充実感や達成感を得られるように活動の企画をしています。自己有用感や自己効力感を高めることで、生き生きとした葵中生を育みます。

## 18. 読書活動と豊かな心

図書室では、委員会の生徒たちにより、読みたい本がたくさん紹介されています。また、学校ボランティアの方々による読み聞かせも行っています。これからも、読書への興味を高め、豊かな心の醸成を進めます。

## 23. スマートフォン等のフィルタリング

学校では、ネットの情報を取捨選択し、有効に活用する能力を高めていきます。また、SNS上のトラブルは喫緊の課題です。家庭でも、スマートフォンを使う上での約束やマナーを話し合うようにお願いします。

## 三学期の抱負



### 三学期の抱負

一年六組

私は三学期頑張りたいことが、二つあります。

一つ目は、今よりもさらによいクラスにしていきたいことです。三学期も授業での話し合い活動や、行事を通してクラスの仲を深めていきたいです。また、六組は挨拶を大事にしています。これからも挨拶が元気にできるような、みんなで声をかけ合って頑張っていきたいです。そして、「一年生が終わる頃に、「このクラスで良かった」と仲間が思うことができるよう、メリハリをつけ生活できるところをさらに意識して、最高のクラスを作っていきたいです。

二つ目は、部活動です。私はバスケットボール部に所属しています。二学期にあった新人戦での試合中、とても苦しい場面がありました。悔しくて泣きそうになっていた私に、ある先輩が「勝ったら泣こう」と温かい声をかけ、私を励ましてくれました。そこから気持ちを切り替えて試合に集中してのぞむことができ、私もシュートを決めることができま

した。苦しくてもあたたかい声をかけてくれた先輩。その憧れの先輩に近づくために、三学期も日々の部活動を精いっぱい頑張っていきたいです。

### 最高学年に向けて

二年六組

年も明け、学年最後の学期である、三学期が始まりました。僕たち二年生は、今月末にスキー研修が予定されています。健康管理に気をつけ、友達やクラスメイトと最高の思い出を作りた

いです。そして、三学期が終われば僕たちは最高学年になります。最高学年としての自覚と責任をもち、学校生活を送りたいと思います。また、三年生になると受験があり、進路を決めなければなりません。その時に後悔しないためにも、この三学期から目標に向けて、勉強、部活動などに取り組みたいです。

僕は、この三学期に自分にあった勉強方法を見つけて、それを自主勉強などに活用し、学力を上げていきたいと思っています。また、生活面では一分前着席などの小さなことから時間を意識して、メリハリのある学校生活を送りたいです。

最後に、新型コロナウイルスが完全に収束するのはまだ先ですが、その中でもやれることを最大限に取り組み自分たちがこの学校を引っ張っていきける学年を目指していきたいです。

### いまがたいせつ

三年三組

「今を大切にする」

これが私の三学期の目標です。そのために、心がけていきたいことが二つあります。

一つ目は、志望校合格に向けてがんばることです。全員がお互いの夢を叶えられるように、放課も勉強したい子を尊重したり、わからない問題は教え合ったりするなど、三年生のよいところである「みんなの仲がよく、協力できる」ところを生かして、全員で乗り切っていきたいです。

二つ目は、今、目の前にいる学級や学年の子たちとの交流を大切にすることです。卒業すると、離れ離れになり、なかなか会えなくなってしまう子たちもいると思います。最後の学年レクや、あとわずかな学級での時間など、楽しめるときは思いっきり楽しみ、みんなの思い出をたくさん残したいです。真剣に取り組むときと、楽しむときとのメリハリをつけ、卒業するときに、「この仲間でよかった」と心から思えるような三学期にしていきたいです。

# 校内書き締め会 金賞受賞者

金賞

一〇一	一〇二	一〇三	一〇四	一〇五	一〇六	一〇七	一一一	一一二	一一三	一一四	一一五	一一六	一一七	二一一	二一二	二一三	二一四	二一五	二一六	三一一	三一二	三一三	三一四	三一五	三一六	三一七	開発
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

## 表彰の記録



ロボコン県大会基礎部門  
三位

ロボコン東海北陸大会基礎部門  
出場

みかわの子作文コンクール  
入選

県中学生バレーボール新人大会西三予選  
二位

岡崎幸田支所バレーボール冬季大会  
二位

市総合ハンドボール選手権大会  
優勝

県中学生バスケットボール新人大会西三予選  
三位

男子バスケットボール部

### すこやか思春期教室を開催(三年生)

もっと知ろう！生と性のこと  
～かけがえのない大切な命～  
育もう優しい心～

令和四年二月一日(火)

岡崎市保健所より保健師さんをお招きし、命・性の尊さについて学びます。

## 今後の予定



二月

一〇日(木) 入学説明会

一四日(月) 一二年学年末テスト(一六日)

一五日(火) すこやか思春期教室(三年)

一七日(木) ひまわりプロジェクト

一八日(金) 後期生徒総会

二一日(月) 教育講演会

二五日(金) 卒業を祝う会

三月

二日(水) 同窓会入会式(三年)

三日(木) 第75回卒業証書授与式

七日(月) 公立A日程学力検査

八日(火) 公立A日程面接検査

九日(水) 一・二年保護者会(希望制)

一〇日(木) 公立B日程学力検査

一・二年保護者会(希望制)

ひまわりプロジェクト

公立B日程面接検査

一日(金) R四年度前期生徒会役員選挙

五日(火) スキー研修(二年)(一七日)

一七日(木) 校外学習(一年)

一八日(金) 公立高校合格発表

二年休業日

二二日(火) 大掃除

二三日(水) 給食終了

二四日(木) 修了式

二五日(金) R四年度前期生徒会役員任命式

春休み(四月六日)

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいませようお願いいたします。



何ができるのか  
校務主任 大橋 貴広

昨年未終了したドラマに小栗 貴広主演の「日本沈没―希望の土―」がある。ドラマは、日本沈没が予想される中、温暖化による感染症拡大の危機に見舞われながらも、国民の多くを国外に移住させる。そして、日本全土が沈没するかと思われたとき、九州と北海道が残り、日本全土の沈没は免れたというものだった。予想を超える結末には驚かされた。

今、南海トラフ地震発生の切迫性が高まっている。地震だけでなく、集中豪雨や洪水、ハリケーンなど日本だけでなく世界中で異常気象が起きている。また、新型コロナウイルス感染症も、近年の異常気象や感染症など考えいつと何が起ころうともおかしくない。二十年近く前に起きた東海豪雨では、川の堤防の決壊で、清須市にある実家が水没した。数日して実家に行くと、町の中がごみの山だった。家の中の片付けを行い、町の片付けを手伝った。家族や友達によると、二階にまで迫ってくる水を見て生きた心地がしなかつた。

ニュースなどの情報でしか目の当たりにしてこなかった災害に自分自身が直面したとき、どう行動がとれるのだろうか。正直、できることがあるのだろうかと考えさせられてしまう。三年生の理科では自然災害について最後に学習する。何が起ころうととき、どう行動できるのか。生徒と共に考えてみた。